

シラバスの記載内容について

シラバスは以下の項目に沿って記載されている。

〔 授 業 科 目 名 〕	授業科目名を記載する。
〔 授 業 科 目 名 (英 字) 〕	授業科目の英文名を記載する。
〔 ナ ン バ リ ン グ 〕	授業科目の教育課程上の位置づけ(どの分野の授業科目か、といった科目の所在地)や単位の取扱い(必修、選択など)等を把握できるよう、ナンバリングを記載する。
〔 年 次 〕	授業科目の配当学年を記載する。
〔 単 位 数 〕	授業科目の単位数を記載する。
〔 期 間 〕	授業科目の開講期間を記載する。
〔 担 当 者 〕	担当者の氏名を記載する。複数担当や非常勤講師などの場合、省略することもある。
〔授業のねらい・概要〕	授業の目標・目的を十分に理解し、その達成に向けて努力することにより、積極的に授業に取り組むことのできるよう、授業目標・目的を中心に授業の概要、授業形態等を記載する。
〔 授 業 計 画 〕	授業開始から終了までの実施スケジュールおよび予習・復習事項の指示を記載する。半期(前期または後期)の場合は14回、通年の場合は28回を目安とする。
〔 予 習 ・ 復 習 〕	授業外学修に費やす目安時間を授業ごとに記載する。
〔 到 達 目 標 、 ミニマムリクワイアメント〕	到達目標および達成度の判定基準を記載する。
〔 評 価 方 法 〕	評価方法、評価材料について、できるだけ具体的に記載する。
〔 成 績 評 価 基 準 〕	到達目標の達成度による成績の評価基準を示す。 学則上の成績評価基準(学部・大学院共通)は次のとおり。 (合格)S(A):100～90点、A(B):89～80点、B(C):79～70点、C(D):69～60点、G:合格(不合格)F:59～0点、*:評価不能 ※S(A)・A(B)・B(C)・C(D)の()の表記は2024年度以前の学生対象
〔 教 科 書 〕	常時使用する教材(配付プリントを含む)を示す。
〔 参 考 書 〕	補助教材を示す。
〔 受 講 心 得 〕	授業を受けるにあたっての学生への要望、予習・復習事項の指示、担当者の専門分野の紹介、また、必要な予備知識などを記載する。
〔課題やテスト等に対するフィードバック方法〕	学生への課題やテスト等に対するフィードバック方法を記載する。
〔 オ フ ィ ス ア ワ ー 〕	学生からの質問や相談に応じるために、教員が在室している曜日・時間帯を示す。
〔 連 絡 方 法 〕	学生から教員への連絡方法を記載する。
〔 ノ ー ト P C 〕	ノートPCの可否を記載する。
〔 実 践 的 教 育 〕	担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目については、その授業概要を記載する。